

# 500人で、ふくろうの郷5周年を祝う



▲悪天候の中、各地から大勢の方がお祝いに集まってくださいました。

## 地域に見守られ共に歩んだ5年間

淡路ふくろうの郷の開所5周年を祝い、今後の中川原中学校を活用した「中川原高齢者・障がい者・地域ふれあいセンター」構想の発案の場として「5周年記念のつどい」が5月28日に中川原中学校体育館とふくろうの郷を会場に開かれました。

当日はあいにくの雨天となりましたが、行政や議会関係の「来賓、建設に関わった兵庫県内及び淡路島内の聴覚障害関係者、日常お世話になっている地域の方々、遠路愛知や京都、大阪からのお客様等500人近い人たちの参加を得ました。

第1部式典では、ご来賓のあいさつ、ボランティア活動等でお世話になっている方々への感謝状の贈呈、入所者も壇上に上がつての大矢施設長による5年間の経過報告、また、5月に百歳を迎えた寺岡初枝さんへの森屋洲本市副市長からの記念品の贈呈が行われました。

第2部では、たかたクリニク高田院長による「往診く在宅



▲感謝状を授与されたみなさん。

ホスピスから」と題した記念講演が行われ、先生の日常的な医療活動の中から地域医療の現状やあり方、法人としての今後の事業の展望などを学ぶことができました。

第3部は会場をふくろうの郷に移し、施設内共用スペースと玄関前広場を使って祝賀会を行いました。

祝賀会では、建設運動の思い出や、今後のふくろうの郷、法人への期待がスピーチ等で語られ、「ありがとうプレート」の前では記念撮影に興じる人たちの列ができるなど、会食を楽しみながらお互いが交流を深める中で、新しい課題に向かっでの連帯を確認し合うことができました。

(事務長：八木)

# ふくろう新聞

＜発行＞  
特別養護老人ホーム  
淡路ふくろうの郷  
広報委員  
洲本市中川原町  
中川原28番地1  
TEL:0799-25-8550  
FAX:0799-25-8551  
ホームページ  
<http://www.normanet.ne.jp/~hyoufuku/>

例年より早くの梅雨入りに台風の接近も重なり、雨の中、記念式典に参加してくださった皆様、感謝申し上げます。  
さて、来月7月2日(土)16時より毎年恒例のパーベキュー大会を行ないます。今回は災害時を想定し、14時ごろから屋外で炊き出し訓練も行なう予定です。  
さらに7月17日(日)には記念事業のひとつ「中川原高齢者・障がい者地域ふれあいセンター学習会」が行なわれます。

### 5周年記念事業 No. 2

#### 中川原高齢者・障がい者地域ふれあいセンター学習会

テーマ 活力とふれあいに満ちた地域社会の実現を

日時 7月17日(日)13時30分～16時

場所 中川原中学校 コミュニティセンター

内容 中川原地域代表、高齢者関係代表障がい者関係者代表、ほか各種団体、代表の方々によるお話、提言

助言者 石倉康次教授 (立命館大学産業社会学部)

藤井克徳 (きょうされん専務理事)

※皆様のご参加お待ちしております。





▲竹内洲本市長



▲白水理事長



▲三根前理事長



▲高田医師



雨が降っていたけど、  
たくさんの方が来てくれていて、  
びっくりしました。

志田喜代松

お好み焼きを  
がんばって焼いて食べ  
てもらいました。

足立隼司

# 淡路ふくろうの郷 5周年記念のつどい



たくさんの友達が  
きてくれたので、  
うれしかったです。

畠ゆり子

ふくろうの郷5周年  
おめでとうございます。  
私がこうして100歳を迎  
えられたのも、皆さんのお  
かけです。

寺岡初枝



(500人) おおぜいのみ  
なさん、ご支援ありがとう  
ございます

自治会長 神 生



目が見えへんけど、(壇上に)  
呼んでくれてお祝いしてくれて  
うれしかったです。

先山君子

柴山ハウスはふくろうの郷で上手  
に使ってもらったらいいと思います。  
当日は雨の中、大勢の地域の方が  
来られていて日頃のおつきあいの強  
さ、団結力に驚きました。  
大阪では考えられないことです。  
正直びっくりしました。  
感動で涙が溢れるくらいでした。  
(柴山康治さまより)



5年間いろんな仕事  
をしました。  
全部とても楽しいで  
す。  
これからも楽しく元  
気に暮らしたいです。

谷 妙子



## 感想が届いています

早速読ませていただきました。今、私は、人  
生のゴールを向かえようとしている最愛の肉  
親とともに過ごし、人が生きることを意味を  
考えています。私も人生の行程をしっかり  
走りぬぎたいと思います。畠さん、黒崎さん  
他、みなさんの歴史が、後を生きる私たち  
へのメッセージです。是非たくさんの人に読  
んで貰いたいと思います。

神戸市 小巻陽子様

この冊子には、壮絶な人生を送ってきた人  
たちの過去が語られています。ふくろうの郷の  
実践、すなわち過去を権利侵害されてきた中  
でもぐりぬけてきた人生の重みとしてとらえ、  
それに学びたい、それを今後も大切にして生き  
てもらいたいという想いの伝えあいがあったから  
の語りだと思えます。

いろんな人たちにぜひ読んでもらいたい、こ  
の本の何事にも代えがたい最高の価値です。

峰島 厚氏(立命館大学教授)

※5周年記念誌から抜粋

## ご寄付ありがとうございます。(敬称略・順不同)

大田喬子、北川他久美、池尻美代子、波毛みわ子、内藤富子、栗栗ろうあ協会、兵庫  
難聴者協会、淡路中途失聴・難聴者協会、小嶋朝子、松栄寺、はりまふくろうの家、野畑  
晃、滝野穂千里、大槻園二すみ子、松永英次、長塚寿子、中川原郵便局 近藤武彦、  
秋月倫子、中村元三、持田隆彦、手話サークルあわじ、手話サークル津名、手話サー  
クル三原、森智栄美、三好和男、西区聴力言語障害者福祉協会、社団法人兵庫聴覚  
障害者協会、ひょうご聴覚障害者介護支援センター、たつのろあ協会、稲美町ろうあ協  
会、高砂ろうあ協会、鹿児島正晴、北区聴力言語障害者福祉協会、淡路 OHP の会、高  
田英一、東灘区聴力言語障害者福祉協会、仲井正、垂水区聴力言語障害者福祉協  
会、荻野芳信・邦子、奥井光子、豊岡ろうあ協会、平野俊和、淡路聴覚障害者協会、兵  
庫県手話サークル連絡会、龍野ろうあ協会、手話サークルあゆ、兵庫県手話通訳問題研  
究会、高木・古家・中井・野田・宮脇・小南、丹波ろうあ協会、NPO 法人神戸ろうあ協会、  
内田ひとみ、社会福祉法人洲本たちばな福祉会、長田区聴力言語障害者福祉協会、た  
じま聴覚障害者センター・ふくろう自治会、手話サークル若葉、特別養護老人ホームい  
この村梅の木寮、ひょうご聴障ネット、社団法人京都府聴覚障害者協会、社会福祉法  
京都聴覚言語障害者福祉協会、まるみ美容室、医療法人いちはえ会伊月病院、宝塚ろ  
うあ協会、西宮市聴力言語障害者協会ろうあ部会、門田良治、姫路ろうあ協会

特別養護老人ホーム淡路ふくろうの郷開所5周年記念誌

『地域で生きる暮らしをつくる』  
—淡路ふくろうの郷物語—

B5版 DVD付 270ページ!!



好評  
頒布中

頒価 **2,000円** (税込)



# 地域を語る

## 第30回 無量山・大照寺の

### 縁起について

#### 大照寺住職 本間克伯

大照寺の縁起について定かなものはありませんが、地名由来する二ツに割れた大きな石があります。この割れ石には先山千光寺の縁起につながる伝承が残っています。

播州の獵師(かりうど)忠太が大イノシシに放った矢が刺さったまま播磨灘(はりまなだ)を渡り淡路島の先山に逃げ込みました。忠太もイノシシの後を追って先山にたどり着きました。そこで見たのは、自分の放った矢が観音様の御神体に刺さっていた処から、驚き後悔して出家し、庵(いおり)を築いたことが千光寺の縁起になっています。

実は忠太には身重の妻が居りました。狩りに出たまま何日も帰えらぬ夫を探す旅に出ました。人伝に消息をたどり播磨灘を渡り中川原の地にたどり着きました。村人に夫、忠太の事を尋ねると先山で寂忍(じやくにん)と名を改め、修業をしている僧だと聞き、人を頼りに帰って欲しいと便りを出しますが、忠太の意志は固く思いは届きません。臨月のお腹の赤子は、今にも生まれそうになっ

ています。大きな石の上から先山を望み、涙する毎日です。その日も先山を望んでいると急に産気付き石の上で赤子を生み落しました。ところが、生まれただばかりの赤子がお腹の中で感じていた母の悔しさを想い父を慕うあまり地団駄を踏んだところ大きな石が二ツに割れたということでした。

この二ツに割れた石から地名を二ツ石として今に続いています。母子を哀れに思った村人が先山を望むこの地に庵を造り住むよう勧め二人は穏やかに暮らしたと云われています。後にその子が寂忍の弟子となり小さな庵が時を経て丙寺の容貌に変遷して来たのが現在の大照寺とされています。



▲春らんまんの大照寺

※これで町内の寺院の紹介を終わります。

## 男の料理教室



▲男同士力をあわせて丼を作られました。

5月14日、男性入所者だけの料理講座を行いました。天井・親子丼・海鮮丼・ロコモコ丼の4種のどんぶりから食べたい物を選び、作っていただくことにしました。

ユニットでの料理レクでは見ているだけの方も、この日は自分から積極的に参加され、食材を上手に切り分けられる方、力いっぱいハンバーグを練る方など、普段の生活だけでは見られない一面を知ることができました。

今回の「男の料理教室」に参加された入所者様に満足いく内容にすることができました。最期に、お手伝いしてくださいましたボランティアの皆さんありがとうございました。

(生活援助員：神代)

## 星海外出レク・海遊館



▲まるで水の中にいるようです。

## 地域を歩く 湯谷薬師お関伽水



▲中川原の名所に行って楽しみながら学びます。

5月13日(金)入所者6名、盲ろう通訳1名、職員3名で中川原市原にある湯谷薬師のお関伽水(おあかみず)に行ってきました。中川原地域交流会の皆様のお世話になりました。

(相談員：加野)



5月24日「海遊館」に行ってきました。久しぶりの外出レクで、とても楽しんでくれたように思いました。

普段外出レクは参加しない方が、前日に他の入所者から「一緒にいきましよう」と声を掛けられたようで、当日に、急遽「行きたい」と要望があったので、参加してもらったところ、大変喜ばれていました。想い出がまた一つ増えました。

昼食は皆の大好きなお寿司を頂きました。

「このお寿司は海遊館で獲れた物ですよ」と冗談を言うのと、とても驚かれました。それでも、1口食べると美味しいと言いい、満足されていました。

(生活援助員：山西)